

意見交換の場

令和6年7月1日(月) 議会と工商业者との意見交換の場を開催しました。



全体での様子

意見交換に先立ち(一社)東松山市観光協会・内山明夫会長から「東松山市観光振興・現状と今後の展望」というテーマで講演いただきました。

意見交換についてはテーマごとに3つのグループに分かれて行いました。

以下、主な内容です。

①観光業について

- ・コロナ禍でイベント等ができなかったが、今後どうやって人を集めるかがイベントについて、人を集めることができるものはあるが、PR力が弱かったり、せっかく来ても街中への流入ができていない。
- ・以前やっていた100円商店街お宝市の復活や名物であるやきとりを使

ったイベント等で人を集めていくことが必要ではないか。

- ・野本さくらの里の木も大きくなってきたがなかなか人を集めるところまではできていない。農林公園でももっと人を呼び込みたい。
- ・マスコミ等により、市内外にどれだけアピールできるか、PR力の向上が問題である。
- ・イベントを1日だけでなく、2日間することで足を運んでもらえるのではないか。
- ・お金を集めることが難しい。ひがしまつやまプライドや化石の発掘などの体験型イベント等により、ふるさと納税で資金を集め、イベントに使うことができればいいのではないか。

②街の活性化について

【丸広百貨店の閉店について】

- ・跡地がどうなってしまうのか。スパーなどを検討してほしい。
- ・補助金を活用しながらまち作りを考えてほしい。
- ・安売りの店ではなく、ブランド感のある店舗を期待している。
- ・例えば子どもの遊ぶ場所等があれば親も一緒に来て買い物ができるなど、ニーズにあったものを考えてもらった方がいいのではないか。
- ・なくすべきものと残すべきものを、いろいろ検討してほしい。
- 【商店街について】
- ・商店街のリニューアル助成金を検討していただきたい。
- ・若者や地元企業が入る商業施設がで

きたらいいのではないか。

- ・商店街の駐車場、共同イベント広場を設けることで、活性化につながるのではないか。
- ・道路整備などのハード面は充実しているが、お店などソフト面の充実が図られていない。行政と商店街の方とで、お互いに任せきりにせずに連携して対策を考えてほしい。
- ・大型店に対抗した魅力ある商店街を、補助金等で支援してほしい。
- ・他自治体でも、シャッター街のようでも、流行っている店舗もある。街並み全体をモデリングするような補助金を出すなどしてほしい。
- ・土地を先行取得できるような機能を行政として作ってほしい。
- ・土日には歩行者天国にするなどほかうか。



意見交換の様子

③事業承継について

- ・事業承継は重要性が高いが、緊急性が低い。後回しにされやすいが、事業をする上で必ず考えなければならぬ課題である。
- ・製造業の場合、設備投資をして儲かっているのに、後継者がいないために廃業になるケースが多い。
- ・飲食業の場合、自宅兼店舗の場合が多く、他人に貸しづらい。また開業しやすいが、廃業も多い。
- ・県の事業承継・引継ぎ支援センターへの相談など様々な課題解決の糸口があるのではないか。
- ・従業員5人以下の事業所に対してアンケート等、実態把握をしてほしい。

その他について(自由意見)

- ・がんばる企業応援事業について、小規模事業者にも支援ができるようにしてほしい。
- ・がんばる中小企業等応援補助金について、もっとアピールしてほしい。
- ・商店リニール助成制度や法人や個人への物価高騰対策支援金等も検討してほしい。
- ・県内の自治体では中小企業を応援するため、中小企業振興基本条例を定めているところもある。市でも検討してほしい。
- ・観光振興、街の活性化、事業承継、3テーマに共通して市内に人を集めることが重要だと考える。観光でも移住でも人を集める創意工夫を数多く行い、議会も積極的に応援していくべきではないか。